「ニーズファースト型」産学連携による
フレキシブル有機エレクトロニクス技術

企業ニーズに徹底的にこだわった「ニーズファースト型」産学連携[*]によって開発した「フレキシブル有機エレクトロニクス技術」

- フレキシブル有機エレクトロニクス用基板技術
- フレキシブル有機エレクトロニクス基板用ガスバリア技術
- フレキシブル有機エレクトロニクス用封止技術
- ガス・水蒸気透過率（WVTR）委託分析

[*] 内閣府第15回産学官連携功労者表彰（2017）にて、科学技術政策担当大臣賞を受賞

開発背景

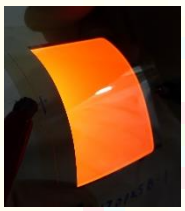
フレキシブル有機ELディスプレイのスマートフォン応用が拡大するなど、フレキシブル有機エレクトロニクス技術は事業拡大時期に入りました。

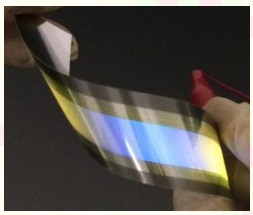
私どもの研究グループでは、2013年度より、フレキシブル有機エレクトロニクス分野において、企業ニーズを最優先した「ニーズファースト（事業貢献第一主義）型産学連携研究」に取り組んでおります。

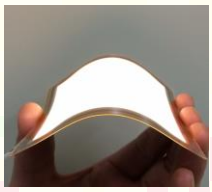
開発した技術は、連携企業の事業への貢献を通して、フレキシブル有機エレクトロニクス産業の発展に寄与致します。

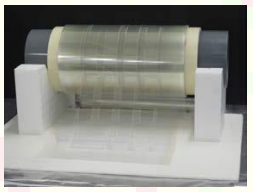
技術内容

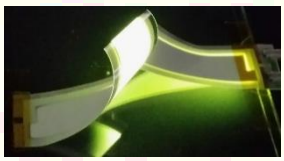
- ●超薄板ガラスを用いたフレキシブル有機EL（連携企業：日本電気硝子, セリア, FEBACS）
- ●高機能ステンレス箔を用いたフレキシブル有機EL（連携企業：新日鉄住金グループ）
- ●バリアフィルム技術（連携企業：帝人, FEBACS）
- ●ラミネート封止技術（連携企業：カネカ）
- ●ALD（Atomic Layer Deposition）を用いた薄膜封止技術（連携企業：日本製鋼所, NECライティング）
- ●TFE（Thin Film Encapsulation）封止技術（連携企業：東洋インキSCホールディングス）
- ●フレキシブル有機EL照明パネル（連携企業：NECライティング）
- ●高バリア性封止材料（連携企業：味の素ファインテクノ）
- ●ガス・水蒸気透過率（WVTR: Water Vaper Transmission Rate）測定（連携企業：MORESCO）





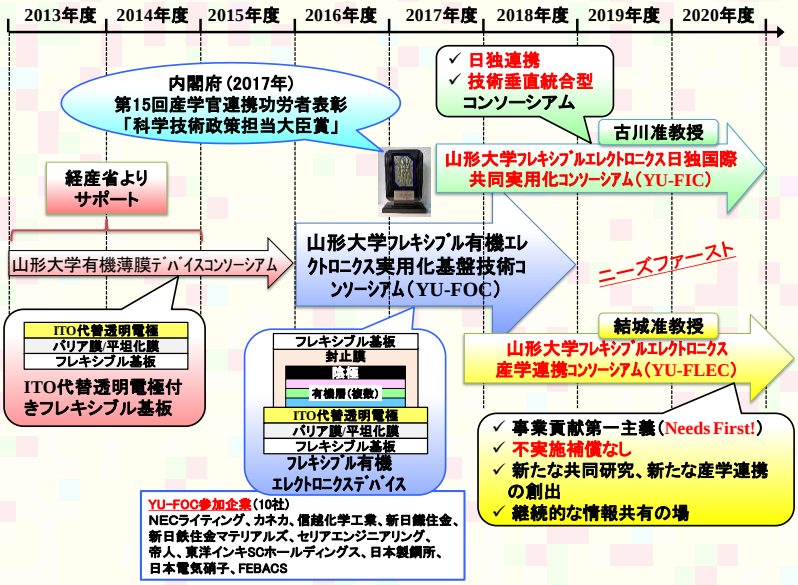






活動紹介

産学連携コンソーシアムによる「ニーズファースト」取り組み



■ 企業名 部署名　山形大学 有機エレクトロニクスイノベーションセンター フレキシブル基盤技術研究グループ
■ 担当者　仲田産学連携教授, 向殿産学連携教授
■ お問い合わせ先　TEL: 0238-29-0575, E-mail: nakada@yz.yamagata-u.ac.jp, koden@yz.yamagata-u.ac.jp